

1月7日からの大雪等に係る関係省庁災害対策会議

議 事 次 第

日時：令和3年1月15日（金）15：00～15：30

場所：合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

1. 開 会

2. 各省庁の対応状況等

（1）これまでの被害に係る対応について

（2）今後の雪に備えた警戒体制について

3. 小此木内閣府特命担当大臣（防災）発言

<概況> 低気圧が発達しながら日本海を東進し16日に北日本を通過する見込み。その後も18日から19日にかけて別の低気圧が発達しながら北日本に接近する見込み。

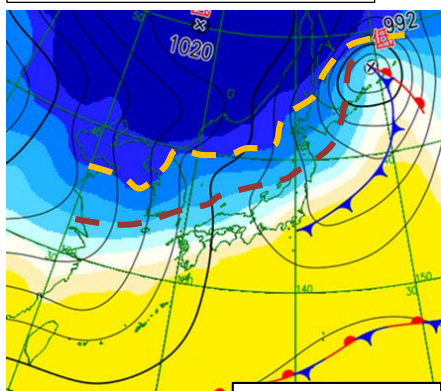
<暴風雪・大雪・高波> 低気圧が通過する影響と通過後に冬型の気圧配置が強まる影響により、16日頃は北日本の日本海側で、19日頃は北日本と東日本の日本海側で雪を伴い風や波が強まるおそれ。低気圧の発達によっては暴風雪や大雪となるおそれもある。

<警戒事項> ふぶきや吹きだまりによる交通障害、大雪による交通障害や施設への被害、強風、高波に警戒・注意。路面や水道管の凍結、屋根からの落雪、停電や倒木、山地ではなだれに注意。

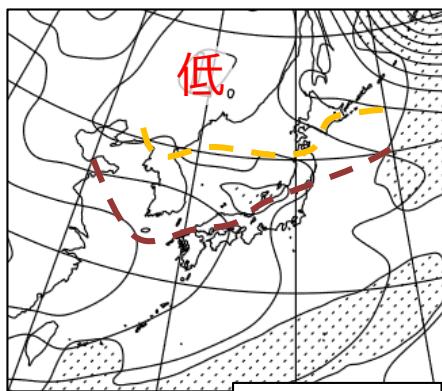
日 時	15日		16日	17日	18日	19日	20日
	12~18	18~6	6~24				
北海道地方	暴風雪						
東北地方	暴風雪						
	波浪						
北陸地方	大雪						
	暴風雪						
	波浪						

大雪と暴風雪、波浪の警報級となる可能性のある期間
 (■可能性がある、■可能性が高い又は警報が発表されている)

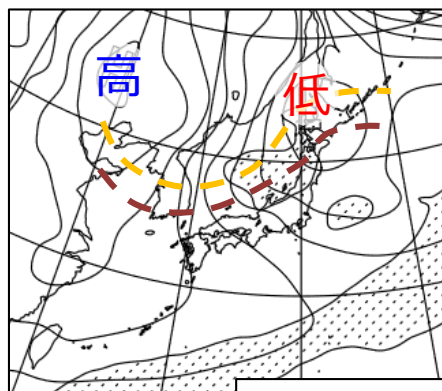
予想天気図



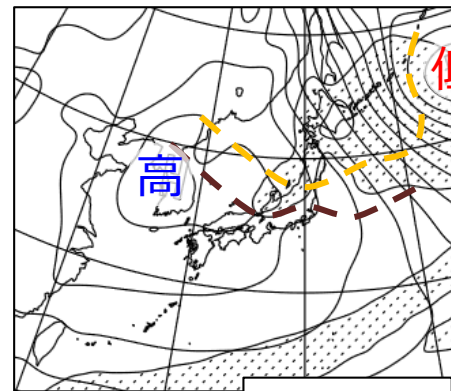
16日21時



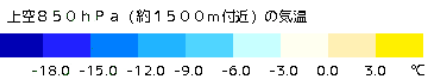
17日21時



18日21時



19日21時



— 上空約1500mの気温 -15度
— 上空約1500mの気温 -9度 (平地で大雪になる目安)

ハッチ域は、予想される24時間降水量が5mm以上の地域

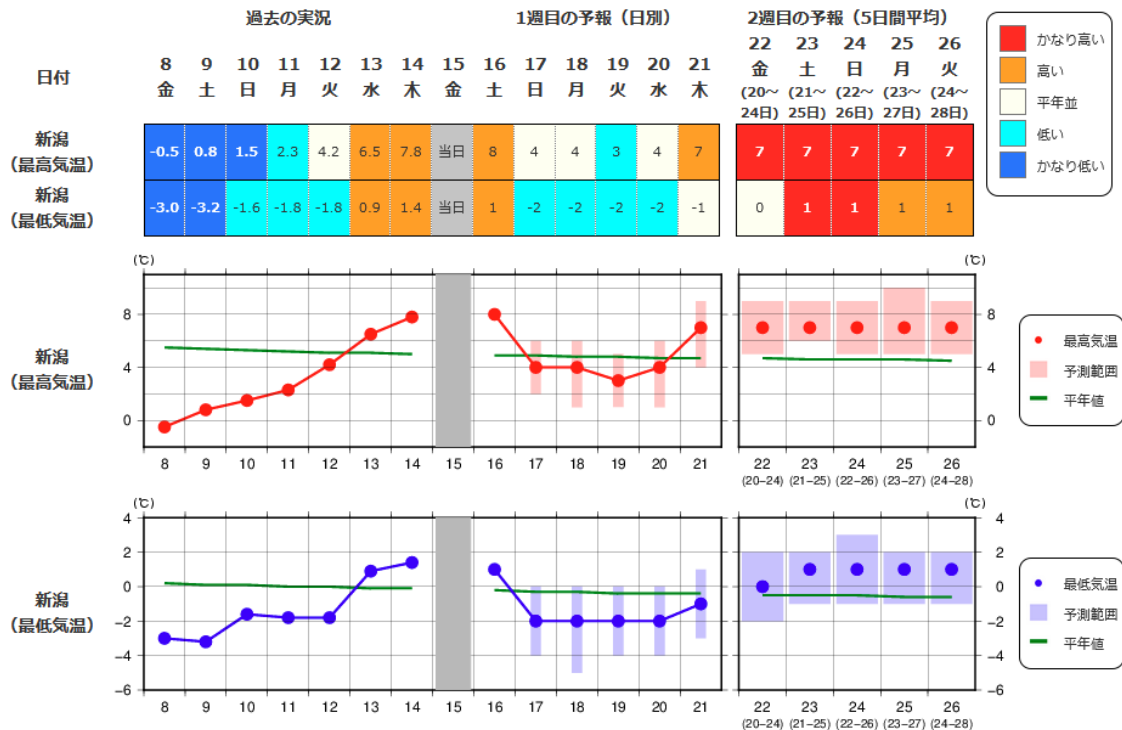
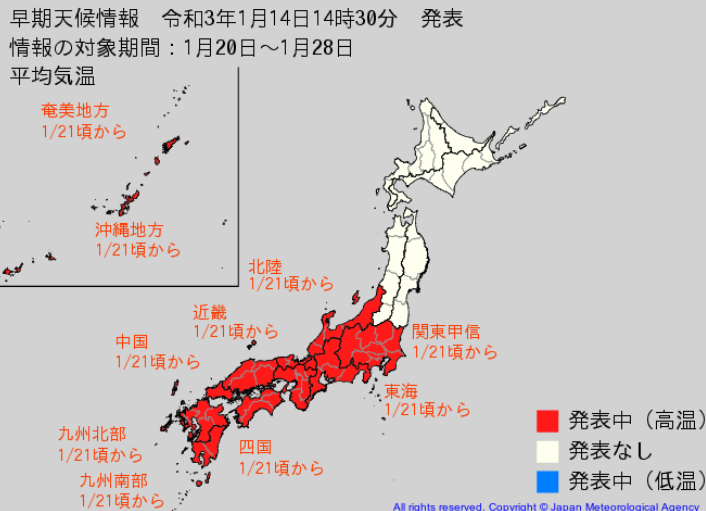
週間天気予報 (15日11時発表)

日付	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金
釧路 府県週間予報 2週間気温予報	/ -10 / 5 50/60/10/10	 -12 / -1 20	/ -12 / -3 50	 -11 / -4 30	 -13 / -3 10	 -12 / -1 10	 -12 / -2 20
旭川 府県週間予報 2週間気温予報	/ -11 / 6 80/50/40/30	 -17 / -5 60	 -11 / -6 60	 -12 / -8 60	 -12 / -5 50	 -9 / -4 40	 -10 / -4 40
札幌 府県週間予報 2週間気温予報	 -2 / 6 80/30/30/30	 -7 / -1 60	 -9 / -2 60	 -9 / -5 60	 -9 / -2 50	 -6 / -1 40	 -7 / -1 40
青森 府県週間予報 2週間気温予報	/ 1 / 5 80/60/30/60	 -4 / -1 60	 -7 / 1 70	 -7 / -3 70	 -7 / 0 50	 -3 / 3 40	 -3 / 3 40
秋田 府県週間予報 2週間気温予報	/ 1 / 6 70/90/40/50	 -5 / 2 60	 -6 / 3 70	 -6 / 0 70	 -6 / 2 50	 -1 / 4 40	 -3 / 4 40
仙台 府県週間予報 2週間気温予報	 0 / 12 10/30/40/10	 -3 / 4 30	 -4 / 6 40	 -5 / 3 40	 -5 / 3 20	 -1 / 7 30	 -1 / 7 30
日付	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金
新潟 府県週間予報 2週間気温予報	/ 1 / 8 10/50/90/70	 -1 / 3 80	 -1 / 4 70	 -1 / 3 70	 0 / 3 50	 -1 / 7 40	 1 / 7 40
金沢 府県週間予報 2週間気温予報	/ 7 / 10 20/90/90/80	 0 / 3 80	 0 / 6 70	 0 / 5 70	 1 / 6 40	 0 / 10 40	 3 / 10 40
東京 府県週間予報 2週間気温予報	 4 / 19 10/0/0/10	 2 / 9 30	 1 / 10 10	 1 / 7 10	 -1 / 6 10	 0 / 11 10	 2 / 13 30
宇都宮 府県週間予報 2週間気温予報	 0 / 16 10/0/0/10	 0 / 8 30	 -2 / 8 10	 -3 / 5 20	 -5 / 5 10	 -3 / 10 10	 -1 / 11 30
長野 府県週間予報 2週間気温予報	/ 1 / 10 10/40/70/50	 -2 / 3 60	 -5 / 4 40	 -9 / -1 40	 -10 / 2 20	 -8 / 7 40	 -3 / 8 40
名古屋 府県週間予報 2週間気温予報	 3 / 13 0/10/20/0	 2 / 10 20	 0 / 8 10	 0 / 5 10	 -1 / 8 10	 1 / 11 20	 3 / 11 30

日付	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金
大阪 府県週間予報 2週間気温予報	 4 / 14 10/30/30/10	 3 / 9 30	 2 / 8 10	 2 / 6 30	 1 / 7 10	 2 / 12 30	 5 / 13 30
高松 府県週間予報 2週間気温予報	/ 5 / 15 0/20/0/0	 0 / 8 30	 0 / 8 20	 1 / 7 10	 0 / 8 10	 1 / 12 10	 5 / 13 30
松江 府県週間予報 2週間気温予報	/ 7 / 12 70/50/30/10	 0 / 6 60	 -1 / 6 60	 -2 / 4 50	 -3 / 8 10	 -1 / 12 20	 3 / 12 40
広島 府県週間予報 2週間気温予報	/ 8 / 14 30/20/0/0	 -1 / 8 30	 -1 / 7 10	 0 / 7 10	 -1 / 9 10	 0 / 13 20	 5 / 13 40
高知 府県週間予報 2週間気温予報	/ 7 / 18 10/20/0/0	 1 / 11 10	 -1 / 10 10	 1 / 10 10	 0 / 12 10	 1 / 15 10	 5 / 15 30
日付	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金
福岡 府県週間予報 2週間気温予報	/ 8 / 12 30/10/0/10	 2 / 7 30	 2 / 9 30	 2 / 7 10	 1 / 11 10	 3 / 14 30	 9 / 15 40
鹿児島 府県週間予報 2週間気温予報	/ 8 / 17 20/20/0/0	 2 / 10 20	 1 / 11 20	 4 / 12 10	 3 / 15 10	 6 / 17 20	 11 / 18 40
奄美 府県週間予報 2週間気温予報	/ 12 / 21 10/20/10/10	 11 / 15 40	 11 / 15 30	 10 / 15 20	 10 / 18 20	 12 / 21 30	 15 / 19 60
那覇 府県週間予報 2週間気温予報	 17 / 22 10/10/20/20	 13 / 18 50	 13 / 17 20	 13 / 18 10	 15 / 21 20	 17 / 22 20	 18 / 21 60
石垣 府県週間予報 2週間気温予報	/ 18 / 22 20/40/50/70	 12 / 17 60	 14 / 18 A	 14 / 20 20	 17 / 22 30	 19 / 22 60	 20 / 22 60

2週間先までの気温に関する予報

(1月14日14時30分発表)



✓ 全国的に17日頃～20日頃は気温は低く、その後下旬中ごろにかけて北日本では平年並か高く、東日本以西ではかなり高くなる見込み。なだれや屋根からの落雪等に注意。

※各地の予報は気象庁ホームページで確認できます。

令和3年1月7日からの大雪等による被害及び
消防機関等の対応状況（第14報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

令和3年1月15日（金）7時30分
消防庁 応急対策室
※下線部は前回からの変更箇所

1 被害の状況（車両立ち往生によるもの）

(1) 人的被害

【富山県】軽症2人（小矢部市）

【福井県】軽症5人（福井市2、坂井市2、永平寺町）

(2) 車両の立ち往生への対応

【新潟県】国道8号線にて発生（滞留解消）

○ 上越地域消防局（救助・救急要請なし）

【富山県】東海北陸自動車道にて発生（滞留解消）

・ 1月10日 4時00分 自衛隊に対して災害派遣を要請

・ 1月10日 災害救助法適用を決定（砺波市、小矢部市、南砺市）

○ 砺波地域消防組合消防本部

・ 1月 9日 20時56分 待機車両内にて体調不良を訴えた20代女性を医療機関へ搬送済（軽症・頭痛）（上記(1)再掲）

・ 1月10日 1時50分 待機車両内にて体調不良を訴えた40代男性を医療機関へ搬送済（軽症・倦怠感）（上記(1)再掲）

【富山県】県道62号線等にて発生（滞留解消）

○ 富山市消防局（救助・救急要請なし）

【福井県】北陸自動車道等にて発生（滞留解消）

・ 1月10日 4時00分 自衛隊に対して災害派遣を要請

・ 1月10日 災害救助法適用を決定（福井市、あわら市、坂井市）

○ 福井市消防局及び嶺北消防組合消防本部

・ 1月 9日 16時56分 待機車両内にて体調不良の生後4ヶ月男児を医療機関へ搬送済（軽症・脱水症状）（上記(1)再掲）

・ 1月 9日 22時58分 待機車両内にて体調不良の40代男性を医療機関へ搬送済（軽症・ぜんそく発作）（上記(1)再掲）

・ 1月 9日 23時47分 待機車両内にて体調不良の40代男性を医療機関へ搬送済（軽症・痺れ感）（上記(1)再掲）

・ 1月10日 13時25分 待機車両内にて体調不良の50代男性を医療機関へ搬送済（軽症・倦怠感）（上記(1)再掲）

・ 1月11日 2時22分 待機車両内にて体調不良の50代男性を医療機関へ搬送済（軽症・意識障害）（上記(1)再掲）

【福井県】中部縦貫自動車道にて発生（滞留解消）

○ 永平寺町消防本部（救助・救急要請なし）

2 被害の状況（上記1以外の除雪作業中の事故等によるもの）

都道府県	人的被害						住家被害					
	死者	行方不明	負傷者			合計	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	合計
			重傷	軽傷	程度不明							
人	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
北海道	2					2						
岩手県	2					2						
秋田県	1					1			174			174
山形県	2		9	8		19			24			24
栃木県				1		1			1			1
千葉県			1	5		6						
新潟県	6		4	15		25		1	10			11
富山県	2		11	39	0	52	1		5		2	8
石川県	1		6	35		42			52		2	54
福井県	5		12	59		76	1	1	1	2	14	19
岐阜県	1					1						
鳥取県				2		2						
島根県			1	15		16						
広島県			1	2		3						
福岡県			2	105		107						
長崎県			1	19		20						
合計	22		48	305	0	375	2	2	267	2	18	291

※山形県の住家被害（一部破損）については程度確認中を含む

《死者の内訳》

- 【北海道】 帯広市 1人（70代男性、除雪作業中に屋根から転落したもの）
- 余市町 1人（70代男性、ビニールハウスの雪下ろし中に雪の下敷きになったもの）
- 【岩手県】 北上市 1人（50代男性、除雪作業中に屋根から転落したもの）
- 西和賀町 1人（70代男性、除雪機の下敷きになったもの）
- 【秋田県】 大仙市 1人（60代男性、除雪作業中に落雪に埋もれたもの）
- 【山形県】 鶴岡市 1人（80代男性、除雪作業中に池に転落したもの）
- 新庄市 1人（70代男性、落雪に埋もれたもの）
- 【新潟県】 新潟市 1人（80代男性、除雪作業中に屋根から転落したもの）
- 三条市 2人（60代男性、除雪作業中に屋根から転落したもの）
- （60代男性、除雪作業中に用水路に転落したもの）
- 上越市 2人（80代女性、除雪機に足が挟まれたもの）
- （70代女性、除雪作業中に川に転落したもの）
- 【富山県】 阿賀町 1人（50代男性、除雪作業中に転落したもの）
- 富山市 1人（80代男性、除雪作業中に用水路に転落したもの）
- 氷見市 1人（60代男性、車内で積雪による一酸化炭素中毒になったもの）
- 【石川県】 内灘町 1人（60代男性、車内で積雪による一酸化炭素中毒になったもの）
- 【福井県】 福井市 3人（80代男性、除雪作業中に意識消失したもの）
- （70代女性、除雪作業中に雪に埋もれたもの）
- （70代男性、除雪作業中に屋根から転落したもの）
- 大野市 1人（60代男性、屋外で倒れていたもの）
- 勝山市 1人（80代女性、雪に埋もれたもの）
- 【岐阜県】 高山市 1人（60代男性、除雪作業中に屋根から転落したもの）

3 孤立の状況

《解消したもの》

- 【富山県】 氷見市において5地区88世帯168人が倒木及び電柱倒壊により孤立
→うち3地区73世帯135人の孤立が解消
→解消
- 小矢部市において1地区3世帯4人が積雪により孤立
→解消

- 【石川県】七尾市において1地区39世帯84人が倒木により孤立
→解消
宝達志水町において3地区18世帯36人が倒木により孤立
→うち2地区4世帯9人の孤立が解消
→解消
- 【岐阜県】郡上市において1地区110世帯243人が積雪により孤立
※上記の他、同地区のスキー客等約280人が積雪により孤立
→解消

4 災害対策本部等設置都道府県

- 【秋田県】1月 5日 15時30分 災害対策本部設置
※1月 5日 16時00分 自衛隊に対して災害派遣を要請
→1月10日 16時00分 撤収
- 【山形県】1月 1日 13時00分 災害対策本部設置
- 【新潟県】1月10日 11時00分 災害対策本部設置
※1月10日 13時39分 住家の雪下ろしの対応のため自衛隊に対して災害派遣を要請
→1月12日 15時18分 撤収
- 【富山県】1月10日 4時00分 雪害対策本部設置
※1月10日 4時00分 自衛隊に対して災害派遣を要請
→1月11日 0時30分 撤収
- 【福井県】1月10日 4時00分 災害対策本部設置
※1月10日 4時00分 自衛隊に対して災害派遣を要請
→1月12日 10時00分 撤収

5 消防庁の対応

- 1月 6日 13時15分 応急対策室長を長とする消防庁災害対策室を設置（第1次応急体制）
13時53分 都道府県、指定都市に対し「7日からの大雪等についての警戒情報」を発出
- 1月10日 6時30分 国民保護・防災部長を長とする消防庁災害対策本部に改組（第2次応急体制）
→1月13日 17時00分 廃止

問い合わせ先 消防庁応急対策室 高橋・濱田・小川・赤荻 TEL 03-5253-7527 FAX 03-5253-7537

1月7日からの大雪等に係る大臣視察報告（新潟県・富山県） （令和3年1月14日（木））

令和3年1月15日
内閣府特命担当大臣（防災）
小此木 八郎



新潟県

現地視察

① 上越市高田地区



- ・上越市（旧高田市街地）を歩き、家屋や道路の除雪等を行う現場を視察した。
- ・雪の重みにより倒壊した空き家撤去の説明を受けた。
- ・雪の重さで家の戸が開かないといったお年寄りの悲痛な声を直接伺った。

富山県

現地視察

③ 氷見市胡桃地区

- ・氷見市胡桃地区の孤立の原因となった、倒木及び電柱の倒壊により遮断された道路の復旧現場を視察した。
- ・28か所の倒木等により発生した6か所の孤立集落に関し、倒木の処理や、消防ヘリによる食料等の物資輸送の説明を受けた。



意見交換会

② 新潟県知事・上越市長・糸魚川市長・妙高市長（高田城址公園オーレンプラザ）



【各自治体からの要望】

- ・除排雪経費に対する財政支援・除雪作業の人手の確保
- ・道路管理者間の除雪応援体制の構築
- ・被災した中小企業者や農林漁業者への支援
- ・災害救助法の適用期間延長 等

意見交換会

④ 富山県知事・高岡市長・氷見市長（ホテルニューオータニ高岡）

【各自治体からの要望】

- ・除雪車購入等の除雪体制強化に対する社会資本整備交付金等による財政支援
- ・地域鉄道事業者のラッセル車購入等に対する支援の拡充
- ・代替幹線交通の早期整備（北陸新幹線の大阪までの早期全線開通、東海北陸自動車道の早期全線4車線化）
- ・除排雪に対する財政的支援
- ・被災した中小企業や農林漁業者等への支援 等



⇒1月15日に関係省庁災害対策会議を開催し、政府一体となって迅速に被災地域を支援することを確認。
また、これまでの教訓を生かし、今後の雪に備えた警戒体制の強化を図る。

<被害の状況>

■被害情報等（警察庁12月21日06:00現在 消防庁12月21日07:00現在）

●人的被害：軽傷4人（群馬県みなかみ町1、新潟県南魚沼市3）

うち、車両の立ち往生 関越自動車道に伴うもの

【群馬県】・待機車両内にて体調不良を訴えた20代女性を医療機関へ搬送（軽傷）

【新潟県】・待機車両内にて体調不良を訴えた30代女性を医療機関へ搬送（軽傷）

・救助要請により自力歩行不能となった60代男性を救護（負傷なし）

・待機車両内にて体調不良の40代女性から救急要請有り

→救急隊到着時に病状回復（不搬送）

・待機車両内にて体調不良を訴えた60代男性を医療機関へ搬送（軽傷）

・待機車両内にて体調不良を訴えた30代男性を医療機関へ搬送（軽傷）

<参考>

・除雪中等に伴うもの：（死者6、重傷26、軽傷33）

【北海道】死者1人 【岩手県】重傷2人、軽傷3人

【秋田県】死者1人、重傷4人、軽傷9人

【山形県】死者2人、重傷10人、軽傷11人 【群馬県】軽傷4人

【新潟県】死者2人、重傷9人、軽傷6人 【兵庫県】重傷1人

●住家被害：被害報告なし

●孤立の状況

全て解消済み

<<解消済>>

【秋田県】湯沢市（スキ一場）：44人（電柱倒壊及び倒木） →20日 6時45分 解消

【福島県】只見町：1地区 3世帯13人（倒木） →20日14時05分 解消

金山町：1地区 5世帯（人数不明）（倒木） →20日15時15分 解消

【岐阜県】揖斐川町：1地区13世帯18人（倒木） →17日21時20分 解消

【兵庫県】養父市：1地区 4世帯 5人（倒木） →17日16時00分 解消

香美町：2地区48世帯（人数不明）（倒木） →17日19時00分 解消

新温泉町：5地区34世帯（人数不明）（倒木） →19日21時00分 解消

【鳥取県】若桜町：1地区19世帯26人（電柱倒壊） →18日13時00分 解消

八頭町：2地区 7世帯11人（電柱倒壊） →18日17時30分 解消

■避難状況（内閣府：12月21日07:00現在）

避難所：閉鎖済み（参考：【新潟県】1カ所2人 12/18 11:00）

■道路関係

●高速道路（国土交通省：12月21日05:00現在）

大雪による通行止め：解消済（参考：3路線 関越道、上信越道、東北道）

●直轄・補助国道（国土交通省：12月21日05:00現在）

大雪による通行止め：なし

●車両の立ち往生（国土交通省：12月21日07:00現在）

【新潟県】関越自動車道（NEXCO 東日本）：滞留解消（18日21時頃）

（参考：上線750台、下線350台程度（12/17時点））

※NEXCO、自衛隊、警察等により、滞留車両の運転手等に対し、バスによる避難を呼びかけたが、利用される方はいなかった。

上信越自動車道（NEXCO 東日本）：滞留解消

【岩手県】東北自動車道平泉前沢IC（NEXCO 東日本）：滞留解消

■交通関係

●鉄道関係（国土交通省情報：12月21日05:00現在）

運転見合わせ：3事業者6路線

○JR 東日本（4路線） 奥羽線（横手駅～真室川駅）、只見線（只見駅～小出駅）、
上越線（水上駅～宮内駅）、飯山線（戸狩野沢温泉駅～越後川口駅）

○JR 西日本（1路線） 木次線（出雲横田駅～備後落合駅）

○由利高原鉄道（1路線） 鳥海山ろく線（矢島駅～羽後本荘駅）

■ライフライン等の状況

●電力関係（経済産業省情報：12月21日06:00現在）

○東北電力：秋田県 100戸、宮城県 40戸

○中部電力：解消済

○関西電力：兵庫県 10戸（最大停電戸数：約9,220戸 12/17 14:00時点）

○中国電力：鳥取県 100戸

●水道関係（厚生労働省：12月21日06:00現在）

兵庫県 41戸（香美町10戸 新温泉町31）

（参考：兵庫県の香美町、新温泉町、豊岡市の最大断水戸数の合計_3,713戸）

●通信関係（総務省：12月21日07:00現在）

【固定電話】被害なし

【携帯電話】エリア支障解消済み

<政府の対応>

■閣僚会議等の開催

12月16日13:00 関係省庁災害警戒会議開催

12月17日15:35 大雪に関する関係閣僚会議開催

■災害救助法の適用

12月17日 災害救助法の適用を決定（【新潟県】南魚沼市、南魚沼郡湯沢町）

<被害の状況>

■被害情報等（警察庁：1月3日7:00現在 消防庁：1月3日8:00現在）

- 人的被害**：雪崩、立ち往生等：調査中死体 1（秋田県横手市1）※67歳男性、雪崩に巻き込まれ
 その他、転倒等：死者 2（岩手県岩泉町1）※70歳男性、除雪中にショベルカーの下敷き（福井県大野市1）※70歳男性、屋根雪下ろし中に用水路に転落
- 重傷 7（秋田県横手市3、大館市1、鹿角市1、羽後町1、山形県村山市1、）
- 軽傷 25（秋田県横手市4、男鹿市1、大仙市2、羽後町1、山形県尾花沢市1、新潟県新潟市6、福井県大野市2、越前市1、鳥取県三朝町1、島根県松江市3、出雲市2、大分県別府市1）

- 住家被害**：雪崩等：被害報告なし
 その他：一部破損2（兵庫県香美町1、島根県出雲市1）

- 孤立の状況**：被害報告なし

■避難状況（内閣府：1月3日8:00現在）

避難所：開設なし

■道路関係（国土交通省：1月3日6:30現在）

- 高速道路**：なし ※滞留車両無し（参考：11路線11区間 12/31 6:00）
- 有料道路**：なし
- 直轄国道**：なし（参考：1路線 12/31 6:00）
- 補助国道・都道府県道**：なし

■鉄道関係（国土交通省：1月3日6:00現在）

運転見合わせ：5事業者19路線

- JR北海道（1路線） 留萌線（深川～留萌）
- JR東日本（13路線） 津軽線（蟹田～三厩）（青森～蟹田）、奥羽線（新庄～院内）（院内～湯沢）、陸羽西線（新庄～余目）、米坂線（米沢～小国）（小国～坂町）、上越線（宮内～水上）、飯山線（戸狩野沢温泉～森宮野原）（森宮野原～越後川口）、只見線（只見～小出）、大糸線（信濃大町～南小谷）、磐越西線（馬下～喜多方）、北上線（ほっとゆだ～横手）、弥彦線（弥彦～吉田）（吉田～東三条）、越後線（柏崎～吉田）、信越線（直江津～柏崎）（柏崎～長岡）
- JR西日本（2路線） 木次線（出雲横田～備後落合）、大糸線（南小谷～糸魚川）
- えちごトキめき鉄道（2路線） 日本海ひすいライン（市振～直江津）、妙高はねうまライン（妙高高原～新井）
- あいの風とやま鉄道（1路線） あいの風とやま鉄道線（泊～市振）

※なお、今後、計画運休を予定している事業者はなし

■ライフライン等の状況

●**電力関係**（経済産業省：1月3日7:00現在）

- 北海道電力：雪害による停電発生なし
- 東北電力：新潟県 約100戸（原因調査中）
- 東京電力：雪害による停電発生なし
- 中部電力：雪害による停電発生なし
- 北陸電力：雪害による停電発生なし
- 関西電力：雪害による停電発生なし
- 中国電力：雪害による停電発生なし
- 九州電力：雪害による停電発生なし

●**水道関係**（厚生労働省：1月3日8:00現在）

・被害報告なし

●**通信関係**（総務省：1月3日8:00現在）

【固定電話】被害情報なし 【携帯電話】被害情報なし

<政府の対応>

■政府の対応

- 12月25日13:45 関係省庁災害警戒会議（大臣出席）
- 28日13:15 関係省庁災害警戒会議
- 14:00 官邸情報連絡室設置
- 29日10:00 小此木防災担当大臣より大雪等に対し緊張感を持って対処する旨指示（関係省庁へ周知）
- 30日16:00 年末年始の大雪に関する関係閣僚会議

■災害救助法の適用

- ・現時点で、救助法適用の都道府県はなし。（都道府県から救助法適用についての相談連絡もなし）
- ・今後被害状況に応じて都道府県に助言していく。

1月7日からの大雪等に係る被害状況等について

<被害情報等>

【人的・物的被害】(警察庁 1/15 7:30 現在、消防庁 1/15 7:30 現在)

●人的被害:

車両立ち往生	: 軽症	7 人	(富山県小矢部市 2、福井県福井市 2、坂井市 2、永平寺町)
その他、除雪作業中の事故等	: 死者	22 人	(北海道帯広市 1) ※70 代男性、除雪作業中に屋根から転落 (北海道余市町 1) ※70 代男性、雪下ろし中に雪の下敷き (岩手県北上市 1) ※50 代男性、除雪作業中に屋根から転落 (岩手県西和賀町 1) ※70 代男性、除雪機の下敷き (秋田県大仙市 1) ※60 代男性、除雪作業中に落雪に埋もれたもの (山形県鶴岡市 1) ※80 代男性、除雪中に池に転落 (山形県新庄市 1) ※70 代男性、落雪に埋もれたもの (新潟県新潟市 1) ※80 代男性、除雪作業中に屋根から転落 (新潟県三条市 2) ※60 代男性、除雪作業中に屋根から転落 ※60 代男性、除雪作業中に水路に転落 (新潟県上越市 2) ※80 代女性、除雪機に足が挟まれた ※70 代女性、除雪作業中に川に転落 (新潟県阿賀町 1) ※50 代男性、除雪作業中に転落 (富山県富山市 1) ※80 代男性、除雪作業中に水路に転落 (富山県氷見市 1) ※60 代男性、車内で積雪による一酸化炭素中毒 (石川県内灘町 1) ※60 代男性、車内で積雪による一酸化炭素中毒 (福井県福井市 3) ※80 代男性、除雪作業中に意識消失したもの ※70 代女性、除雪作業中に雪に埋もれたもの ※70 代男性、除雪作業中に屋根から転落 (福井県大野市 1) ※60 代男性、屋外で倒れていたもの (福井県勝山市 1) ※80 代女性、雪に埋もれたもの (岐阜県高山市 1) ※60 代男性、除雪作業中に屋根から転落
調査中死体	4 人	(富山県黒部市 1) ※70 代女性、河川内で心肺停止状態 (新潟県上越市 1) ※70 代女性、自宅前用水路内で心肺停止状態 (富山県小矢部市 1) ※80 代男性、自宅敷地内で雪に埋もれたもの (福井県坂井市 1) ※90 代男性、隣人宅軒下で心肺停止状態	
重傷	48 人	(山形 9,千葉 1,新潟 4,富山 11,石川 6,福井 12,島根 1,広島 1,福岡 2,長崎 1)	
軽傷	305 人	(山形 8,栃木 1,千葉 5,新潟 15,富山 39,石川 35,福井 59,鳥取 2,島根 15,広島 2,福岡 105,長崎 19)	

●住家被害

: 全壊	2 棟	(富山 1,福井 1)
半壊	2 棟	(新潟 1、福井 1)
一部破損	267 棟	(秋田 174,山形 24,栃木 1,新潟 10,富山 5,石川 52,福井 1)
床上浸水	2 棟	(福井 2)
床下浸水	18 棟	(富山 2,石川 2,福井 14)

- 孤立状況:【富山県】氷見市 : 5 地区 88 世帯 168 人 (倒木・電柱倒壊) 一解消
小矢部市 : 1 地区 3 世帯 4 人 (倒木) 一解消
- 【石川県】七尾市 : 1 地区 39 世帯 84 人 (倒木) 一解消
宝達志水町 : 3 地区 18 世帯 36 人 (倒木) 一解消
- 【岐阜県】郡上市 : 1 地区 110 世帯 243 人 (積雪) 一解消
※上記の他、同地区のスキー客等約 280 人孤立 一解消

【避難情報】(内閣府 1/15 7:00 現在)

- 避難所 5 箇所 避難者 2 人
秋田県 4 箇所 2 人 (横手市 1 箇所 2 人、湯沢市 1 箇所 0 人、羽後町 1 箇所 0 人、大仙市 1 箇所 0 人)、福井県 1 箇所 0 人 (勝山市 1 箇所 0 人)

【道路の通行止め等】(国土交通省 1/15 6:30 現在)

- 高速道路: 雪による通行止めなし (参考: 1/9 18 路線 21 区間)
(参考: 最大滞留車両数 北陸道 福井 IC~加賀 IC 上り線: 約 700 台、武生 IC~加賀 IC 下り線: 約 900 台)
- 有料道路: 雪による通行止めなし (参考: 1/9 7 路線)
- 直轄国道: 雪による通行止めなし (参考: 1/8 3 路線 3 区間)
- 補助国道: 雪の被災による通行止め情報なし

【鉄道の運行状況】(国土交通省 1/15 6:00 現在)

- 運転見合わせ路線: 8 事業者 14 路線 (最大: 1/8 17 事業者 53 路線)
JR 北海道: 2 路線、JR 東日本: 3 路線、JR 西日本: 3 路線、民鉄: 5 事業者 6 路線

【ライフラインの状況】(経済産業省 1/15 7:00、厚生労働省 1/15 7:30、総務省 1/15 6:45 現在)

- 電力 : 停電戸数 100 戸 ※東北電力: 15 日発生分
・東北電力 100 戸 (岩手 100) (最大: 1/7 22:00 75,870)
- 水道 : 1,967 戸 (京都府京都市 900、福知山市 81、島根県邑南町 4、川本町 3、浜田市 54、岡山県赤磐市 35、矢掛町 500、広島県廿日市市 330、山口県萩市 60 ※いずれも応急給水実施中)
(参考: 最大断水戸数*15,945 戸) ※各市町村の最大断水戸数の合計
- 固定電話: 被害情報なし
- 携帯電話: NTT ドコモ: エリア支障なし KDDI、ソフトバンク: 復旧済み

【農作物等の被害】(農林水産省 1/15 7:30 現在)

- 被害状況:
 - ・野菜、果樹、花きの損傷、倒伏等 (新潟県、富山県、石川県、岐阜県、大分県)
 - ・畜舎倒壊等による家畜 (牛、豚、鶏) の斃死 (新潟県、石川県) ・生乳の廃棄 (新潟県)
 - ・農業用ハウスの倒壊、破損等 1,830 件 (新潟県 917、富山県 317、石川県 311、福井県 271、岐阜県 4、和歌山県 2、大分県 8)
上記のうち全壊 505 件 (新潟県 219、富山県 236、石川県 50)
 - ・畜産用施設 (牛舎、豚舎、堆肥舎等) の倒壊、破損 66 件 (新潟県 54、富山県 8、石川県 3、大分県 1)
 - ・農業用倉庫等 (資材庫、格納庫、集荷所等) の倒壊、破損 35 件 (新潟県 24、富山県 11)
 - ・共同利用施設 (ライスセンター、パイプハウス等) の倒壊、破損 42 件 (新潟県)
 - ・県施設 (パイプハウス等) の被害 22 件 (新潟県)
 - ・木材加工・流通施設の被害 1 件 (山形県) ・特用林産施設等の被害 5 件 (秋田県、山形県、新潟県、大分県)
 - ・漁船の転覆、沈没等 16 隻 (新潟県 6、富山県 10) ・漁協事務所の損傷 2 件 (新潟県)
 - ・漁業用施設 (防波堤、物揚場) の破損 2 件 (石川県)
 - ・水産業共同利用施設 (荷捌き所、種苗生産施設等) の破損 10 件 (新潟県)

<政府の対応>

- 1/6 13:15 関係省庁災害警戒会議
- 1/8 15:30 1月7日からの大雪等に関する関係閣僚会議
- 1/10 9:10 内閣府調査チーム 福井県庁に向けて出発(1/12 18:30 帰還)
- 1/14 小此木防災担当大臣現地視察 (新潟県・富山県)
- 1/15 15:00 関係省庁災害対策会議 (予定)

●災害救助法の適用

- ・4 県 19 市 2 町 1 村で適用の決定
秋田県 4 市 2 町 1 村 (横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村)、
新潟県 6 市 (長岡市、柏崎市、十日町市、糸魚川市、妙高市、上越市)、福井県 5 市 (福井市、あわら市、坂井市、大野市、勝山市)、
富山県 4 市 (砺波市、小矢部市、南砺市、氷見市)

●防衛省・自衛隊の対応 (防衛省 1/15 7:30 時点)

- 大雪に関する災害派遣要請 (延べ人数約 2,270 人) ※速報値
- ・秋田県 (1/5 16:00 横手市、1/6 16:00 湯沢市・羽後町、1/8 16:00 東成瀬村) →1/10 撤収、富山県 (1/10 4:00 富山県) →1/11 撤収、
福井県 (1/10 4:00 1/11 5:30 福井県) →1/12 撤収、新潟県 (1/10 13:39 上越市→1/12 撤収、18:36 柏崎市→1/11 撤収)
 - ・秋田県、新潟県内において除排雪作業等を実施。東海北陸道及び北陸道において、滞留車両周辺を除雪、けん引及び燃料・食料等の配布及び国道 8 号線において、除雪等の対応を実施。

内閣府特命担当大臣（防災担当）
小此木 八郎 様

令和2年度
豪雪に対する緊急要望



令和3年1月14日

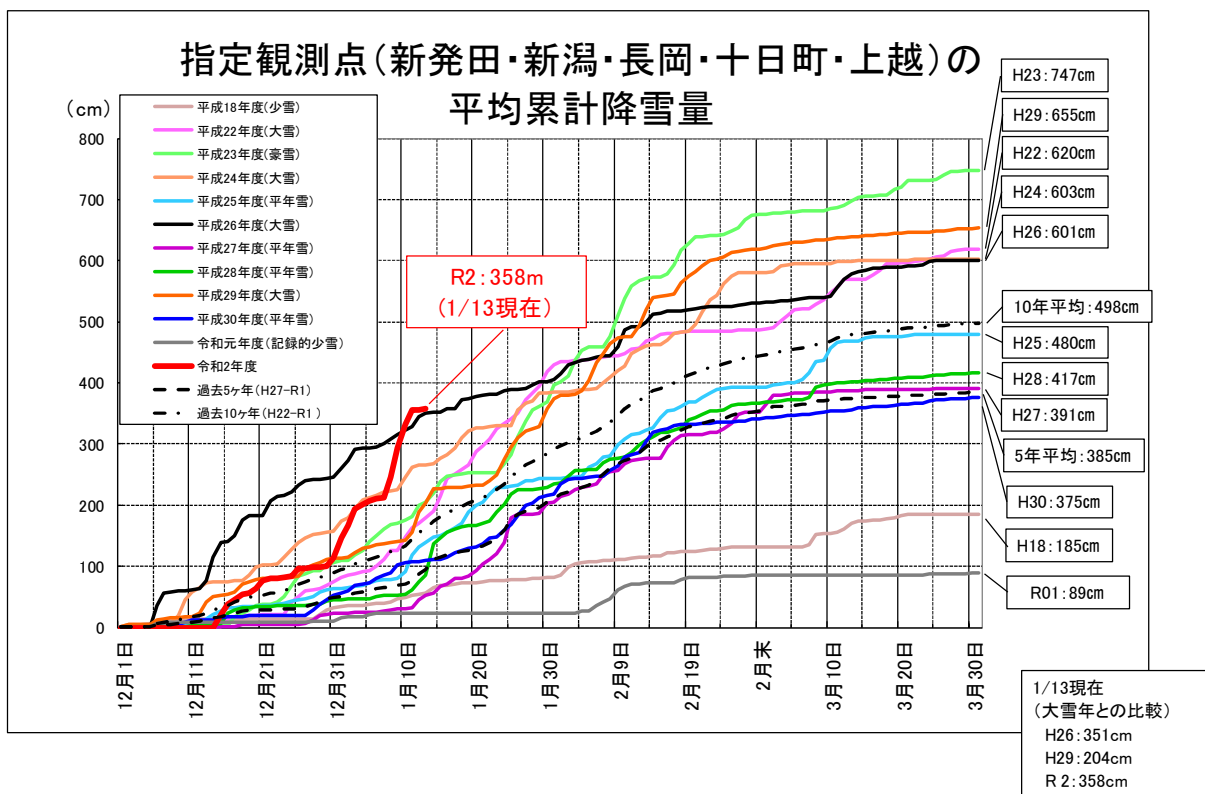
新潟県

新潟県市長会

新潟県町村会

今冬の記録的な大雪により、1月11日時点の平均累計降雪量は過去10カ年で最大であり、直近の大雪年である平成29年度と比べても約2倍となっています。また、1月11日時点の本県の道路除排雪費は既に約80億円に達し、平年同時期を40億円近く上回っている状況です。加えて、今後も車両通行幅を拡幅する除雪や雪崩危険箇所に対する雪底処理費用などにより、例年を大幅に上回る道路除排雪費が見込まれています。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、県及び県内各市町村においては、住民の日常生活及び地域経済活動を支える物流確保等に全力で取り組んでおりますが、道路除排雪費の負担が一層増大し、厳しい財政運営を迫られていることから、万全の道路除排雪を実施するための財政支援について要望するとともに、今冬の降雪によって被災又は経営に影響が生じた各般の事業者への支援につきましても特段の配慮をお願いいたします。



○ 国庫補助制度による道路除排雪経費への財政支援

今冬においては、道路除排雪費に対して雪寒法に定める補助率2／3を充足する国庫支出金総額を確保し、県単独費による超過負担が発生しないよう、お願いいたします。

また、市町村における道路除排雪費についても、市町村道除雪費補助の臨時特例措置等により、市町村の負担が少なくなるよう特段の財政支援をお願いいたします。

(国土交通省道路局)

(財務省主計局)

○ 特別交付税による道路除排雪経等に対する財政支援

今冬の記録的な降雪により、県及び県内各市町村は例年以上に多額の費用を要することが見込まれており、特別な財政需要が発生しているところです。

つきましては、道路除排雪経費や高齢世帯の雪下ろし支援に対する特別交付税の配分について、特段の配慮をお願いいたします。

(総務省自治財政局)

(財務省主計局)

○ 短期集中降雪に伴う道路管理者間の除雪応援体制の構築

近年は、短期集中的な降雪の発生が頻発する傾向にあり、年末には関越自動車道において、短期集中降雪に伴う大規模な道路交通障害が発生しています。

道路交通は、地域住民の安全や生活を支える重要なインフラであり、豪雪地帯の住民の安全・安心、地域経済活動を確保するため、国においては、道路管理者間の垣根を越えた除雪応援体制の構築や情報共有など、更なる連携強化の推進をお願いいたします。

(国土交通省道路局)

○ 被災した農林漁業者への支援

今冬の暴風雪により、農業用ハウスや畜舎などの農林水産業施設や農林畜産物等に被害が生じており、今後の降雪によっては被害が拡大することが懸念されています。

つきましては、農林漁業者の生産意欲を低下させることなく、円滑に生産が再開できるよう、被災した農林水産業施設の再建や修繕、撤去、農林畜産物被害等に対する十分な支援をお願いいたします。

(農林水産省大臣官房)

(農林水産省生産局)

(農林水産省経営局)

(農林水産省林野庁)

(農林水産省水産庁)

○ 公共交通確保のための支援

今冬の記録的な降雪により、在来線の運休が相次ぎ、通学や通勤等に不便を来している状況となっております。豪雪時にも安全・安定運行ができるよう、JRや地域鉄道会社の除雪、特に踏切道の除雪に対する支援をお願いいたします。

加えて豪雪地帯においては、除雪対策にかかる経費や運行できないことによる減収が事業者の財政状況を圧迫し、地域公共交通の維持確保が強く危惧されるところです。地域公共交通事業者（鉄道、バス、タクシー）に対する迅速な経営支援を行うようお願いいたします。

(国土交通省総合政策局)

(国土交通省鉄道局)

(国土交通省自動車局)

○ 被災事業者への資金繰り支援の充実

今冬の暴風雪による中小事業者の経営状況を注視しつつ、降雪によって被災又は経営に影響が生じた事業者への資金繰り支援の充実につきまして、特段の配慮をお願いいたします。


(経済産業省中小企業庁)

内閣府 特命担当大臣（防災担当）
小此木 八郎 様

令和3年1月の記録的な大雪に対する
要望書

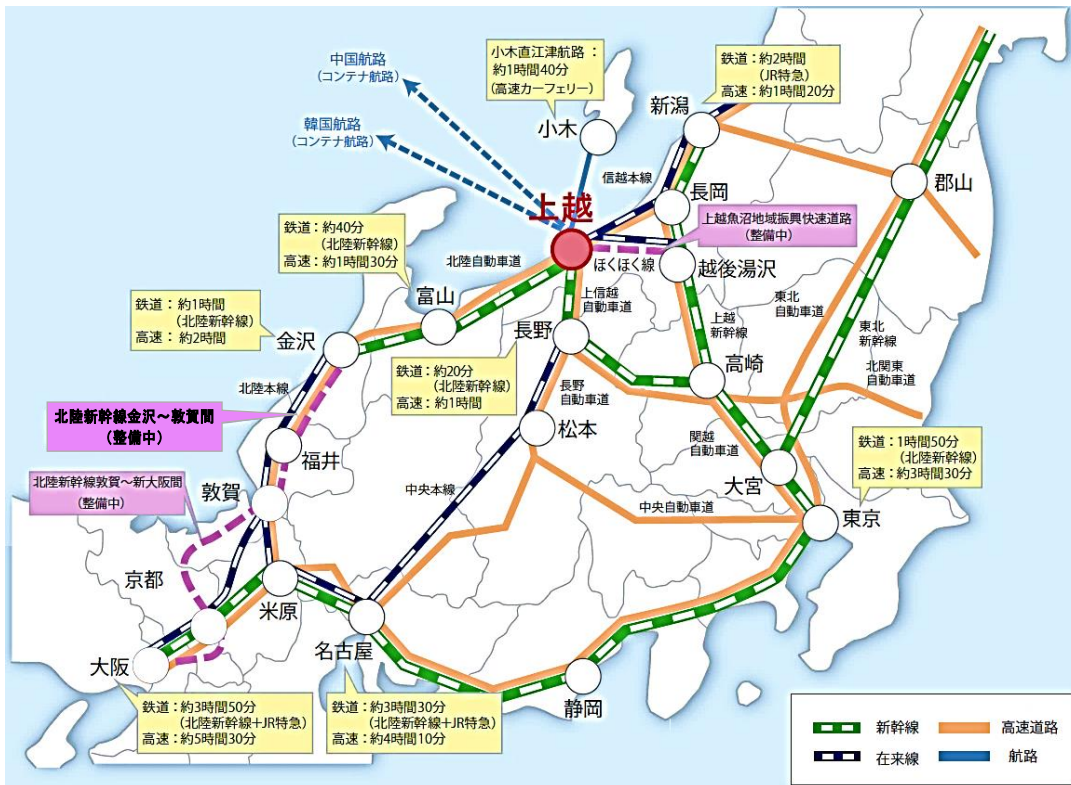
本年1月の大雪の状況



令和3年1月14日
 新潟県上越市

上越市の概要

- 人口 … 196,987人 (平成27年国勢調査)
- 世帯数 … 71,015世帯 (平成27年国勢調査)
- 面積 … 973.89km²
- 広がり … 東西44.6km 南北44.2km



令和2年度当初予算

一般会計

当初予算額	916億7,942万円
制度融資預託金	26億707万円
市債借換に伴う償還元金	11億206万円
実質予算額	879億7,029万円

※「実質予算額」は、当初予算額から制度融資預託金、市債借換に伴う償還元金を除いた予算額

市章



意匠説明

上越市の「上」を草書体であらわし、若葉を思わせる形は、新しい日本海時代に向かって限りない発展を表現しています。

市の木・花



市の木：サクラ



市の花：ツバキ

【緊急要望】

令和3年1月の記録的な大雪に対する支援 について

<要望事項>

本年1月の記録的な大雪に伴う市民生活と経済活動を早期に安定化するための総合的な支援について、特段のご配慮をお願いいたします。

- (1) 除排雪経費に係る特別交付税の最大限の措置及び市町村道除雪費補助の臨時特例措置等による財政支援
- (2) 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の着実な推進

<要望内容等>

当市では、1月7日午後から雪が降り続き、高田特別地域気象観測所では、8日(24時間)だけで103cmの降雪があり、10日には市内全域で災害救助法の適用基準を超える積雪に達したことから、災害救助法が適用され、同日、自衛隊の災害派遣を要請しました。

その後も雪が断続的に降り続き、11日午前9時には249cmの積雪深を記録し、1986年(昭和61年)以来、1月としては35年ぶりに積雪深が240cmを超える記録的な大雪となりました。

市内各所での交通障害、家屋の倒壊、除雪作業中の死亡事故など、状況は極めて深刻であり、市民の安全・安心を確保するため、自衛隊の協力もいただきながら、総力を挙げて対応しておりますが、この大雪により除雪費に不足が生じたため、1月13日、補正予算を専決処分の上、当初の31億円に20億円余りを追加措置したところであります。

こうした市の財政負担の増大に鑑み、除排雪経費に係る特別交付税の最

大限の措置及び市町村道除雪費補助の臨時特例措置等による財政支援について、特段のご配慮をお願いいたします。

あわせて、激甚化・頻発化する自然災害に対応するための防災・減災対策やインフラ施設の老朽化対策を重点的かつ継続的に実施できるよう「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」につづく「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の着実な推進について、特段のご配慮をお願いいたします。

令和3年1月14日

上越市長 村山秀幸

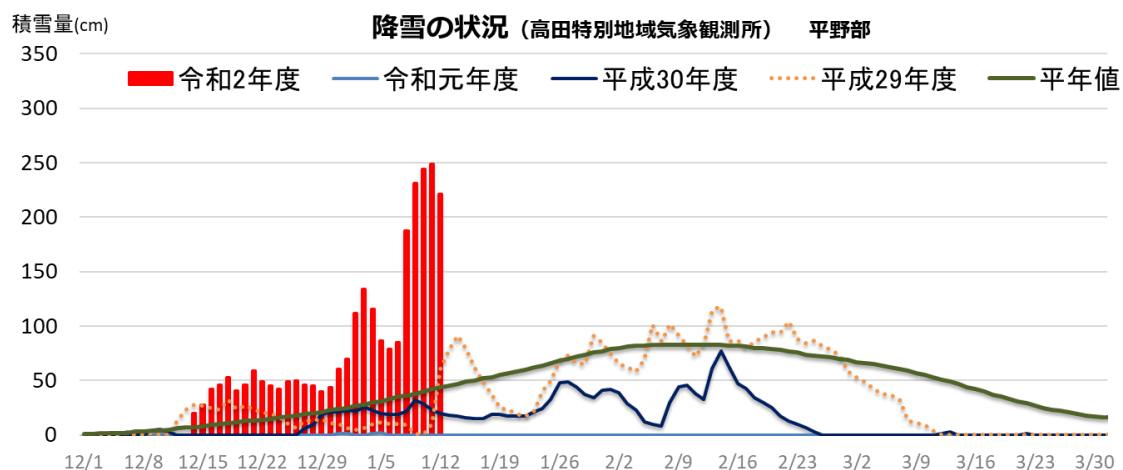
令和3年1月大雪災害の状況

○新潟県上越市では、1月7日午後から雪が降り続き、高田特別地域気象観測所では、8日（24時間）だけで103cmの降雪を記録した。また、1月11日午前9時には249cmの積雪を記録し、1986年（S61年）以来、1月としては35年ぶりに積雪が240cmを超えた。

○市内全域で災害救助法の適用基準を超える積雪に達したことから、1月10日に災害救助法が適用され、また、同日、自衛隊の災害派遣も要請した。

※災害救助法の対象世帯（要援護世帯）：8,190世帯

降雪の状況（高田特別地域気象観測所）



○市内の中心部を通る国道8号では9日午後から相次いで立ち往生が発生し、上越市名立区と有間川付近の海岸沿いの区間では約250台の立ち往生が発生した。

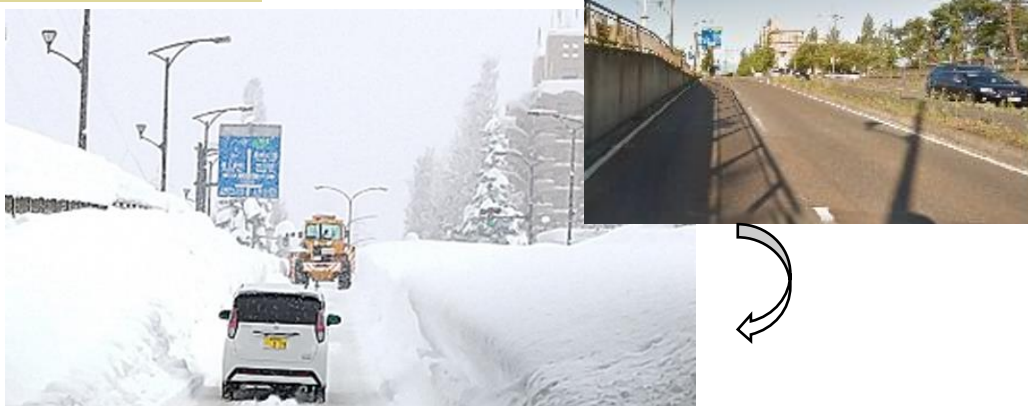
国道8号の状況（国土交通省北陸地方整備局高田河川国道事務所 提供）



上越市茶屋ヶ原付近の立ち往生の状況

- 市内の片側 2 車線の幹線道路では、異常豪雪による路肩部の堆雪により、1 車線しか確保できない状況が発生した。

幹線道路の状況



堆雪により路肩と1車線が閉塞し、自動車がやっと1台通れる状況

- 生活道路では、除雪車が入れない状況が発生しており、緊急車両の通行や通勤・通学などに大きな支障を来している。
- 市内の保育園（一部）、幼稚園、小中学校、高等学校は、連休明けの1月12日以降も臨時休業せざるを得ない状況となっている。
- また、団地内などの狭あい道路では、雪押し場がなく、除雪困難な路線も多く発生。
- 物流が滞っており、市内のスーパー、コンビニ等では、品薄状態となっている。日常の買い物もままならず、市民生活に大きな影響を与えている。
- 市民生活、経済活動を早期に安定化させる為に、道路機能を通常どおりに回復し、道路外に雪を搬出する「排雪作業」を行う必要があり、相当の日数と多額の除排雪経費が見込まれる。

生活道路の状況



消雪パイプによる散水が機能しない状況



路肩の堆雪により、車両が通行できず、排雪作業が必要な状況

○今冬の除雪作業中の事故による被害者は 37 人。65 歳以上の高齢者の割合は 25 人と約 7 割を占めている。屋根の雪下ろし中の転落事故が最多。87 歳の女性が自身の操作する除雪機に巻きこまれ死亡する事故も発生している。

死亡者	重傷者	軽傷者	計
2 人	13 人	22 人	37 人

○暴風雪や積雪による建物被害が多く発生。積雪により空き家が倒壊する事例も発生しており、市街地の町家では一斉屋根雪下ろしが必要な状況となっている。

○倒木による道路の通行止めや停電被害が市内各所で頻発。今冬当初の寒波襲来時（12 月 18 日）には、雪深い山間部で最長 58 時間 31 分にも及ぶ停電も発生。市民生活に大きな影響を及ぼしている。

建物区分	全壊	大規模半壊等	一部損壊	計
住 家	—	—	48 棟	48 棟
非住家	16 棟	4 棟	47 棟	67 棟
農業用施設	24 棟	2 棟	67 棟	93 棟
計	40 棟	6 棟	162 棟	208 棟

倒壊した建物（空き家）の状況（1 月 11 日発生）



○公共交通機関（鉄道、路線バス）は終日運休。高速道路（上信越自動車道）も通行止め（1 月 13 日午後 6 時現在）が続いており、復旧の目途が立っていない状況。

< 運休等の状況 >

鉄道	J R 信越本線	1 月 7 日から
	えちごトキめき鉄道	1 月 8 日から
路線バス		1 月 3 日から
高速道路		1 月 8 日から

内閣府特命担当大臣 防災担当

小此木 八郎 大臣 様

令和2年度
豪雪に対する緊急要望書



令和3年1月14日

新潟県糸魚川市

豪雪に対する緊急要望書

今冬、連日の降雪により、記録的な豪雪にみまわれ積雪2mを超える地区が続出し、当市は1月10日には災害救助法の適用を受けております。

当市では豪雪災害対策本部を設置し、住民の安全及び生活道路を確保するため、除雪・排雪活動の雪対策に全力を挙げて取り組んでおります。

つきましては、次の4点について、ご検討くださいますよう要望申し上げます。

1 屋根雪除雪にかかる費用の限度額の引き上げについて

度重なる降雪により、その都度屋根雪除雪を行う必要があり、既に2回以上実施している世帯も数多くあります。

このため屋根雪除雪の経費が基準を大きく上回る状況となっており、限度額の嵩上げを要望いたします。

2 排雪場の確保経費の支援について

自力で屋根雪除雪などを行っている一般家庭におきましても、度重なる屋根雪除雪などにより、住宅周辺に排雪する場の確保ができない状況となっております。このため、さらなる屋根雪除雪を行うためには、機械除雪による排雪の必要があります。

つきましては、排雪場の確保のための経費につきましても、国の補助の対象とするよう要望いたします。

3 放置家屋対策について

所有者が不明や経済的理由から除雪せず放置されている倒壊の危険がある建物が多数あることから、地方自治体の判断で解体や撤去した場合、財政支援を講ずるよう要望いたします。

4 除雪経費に対する財政支援について

当市は広大な面積に加え、中山間地では過疎化や高齢化が進展しており、豪雪地帯でもあります。

既に当初予算の除雪費を使い切り、2度に及ぶ補正予算も近年では例を見ない規模となっており、財政的に限界に達している状況であります。今後も降雪は続くものと予想され、その対応や雪崩災害の発生についても対策が迫られております。

このような当市の現状をご推察のうえ、除雪関連経費に対する補助制度の拡充や特別交付税の配分につきまして特段の配慮をお願いいたします。

令和3年1月14日

新潟県糸魚川市長 米田 徹

豪雪に対する要望書

妙高市では、昨年末から襲来する数年に一度の強烈寒波により、正常な市民生活を送ることが困難な状況になっております。

市街地（平野部）にある新井地域（旧新井市）の指定観測地点では、大雪に対する警戒本部の設置基準を積雪 200 cmとしていますが、1月4日で182 cmに達し、さらなる降雪が見込まれることから、同日付で大雪警戒本部を設置し、排雪作業など道路除雪体制を強化しました。

降雪はその後も続き、9日に積雪が210 cmとなったことから豪雪対策本部に、翌10日には積雪が250 cmに達し、災害救助法適用基準235 cmを超過したことから、豪雪災害対策本部に移行しました。

当市の市街地が豪雪で災害救助法に適用されたのは「平成23年豪雪」以来、9年ぶりとなるとともに、まだ1月上旬の早い時期の多量降雪となったことから、雪に慣れているはずの妙高市民も戸惑い、今後の生活に不安を抱いているところであります。

公共交通においては、近隣する上越市、糸魚川市を含む広い区域での豪雪により鉄路は1月8日から運休止、運行の目処が立たない状況が続くとともに、最大300台の車両が立ち往生するとともに、1月7日から1週間通行止めとなっている上信越自動車道など、通勤や通学への深刻な影響とともに、物流や冬期観光への影響も顕著になっております。

雪による人的被害として市内の死傷者は、本日現在13名に上り、うち1名の尊い生命が失われております。災害救助法が適用された旧新井市の区域には、高齢者や障がい者等の要援護世帯が約1,230世帯あり、民生委員や市職員が総動員で安否や住家の確認調査を実施しておりますが、

住家の雪下ろしをしなければ倒壊の危険性がある世帯も多く、今後、寒気が緩むと屋根雪の積雪荷重が増すことや、2月中旬までが本格的な降雪期であることから、早急な雪下ろし作業の実施が必要となっております。しかしながら、災害救助法の適用期間が10日間と短期間であり、作業が集中することや、市内の建設作業員が少ないこともあり、全ての要援護世帯が期間内に雪下ろし作業を完了させることが困難な状況となっております。

また、連日連夜降り続く降雪に应じて、道路と歩道の除雪を行っておりますが、堆雪場が満杯となり、歩道と車道との間の雪壁の高さが背丈を裕に超えていることなどから、今後の降雪に備え雪処理のためのスペースを確保するための排雪作業も必要となってきております。

除排雪経費につきましても、11月中旬から2か月間で約11億6千万円程度の当初予算を使い切り、今後の除排雪や要援護世帯への継続的な除排雪支援、雪崩・雪解け災害への対応などのため、10億円程度の増額補正が必要であり、多額の財政負担は避けられないものとなっております。

つきましては、当市の現状と財政状況をご理解いただき、今冬の豪雪より市民の生命を守り、一刻も早く安全・安心な日常生活を取り戻すため、特別交付税の配分につきまして、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年1月14日

新潟県妙高市長 入 村 明

【要望事項】

豪雪対策等の特殊事情に対する特別交付税措置

令和2年度につきましては、
30億円以上の交付をお願い申し上げます。

令和2年度特別交付税の配分に当たって 御配慮いただきたい特殊事情

《除雪に要する経費》

- 除雪費・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,157,541千円
(一般財源所要額907,541千円)

冬期間の道路交通を確保し、安全・安心な市民生活や経済活動を守る。

- ・除雪延長 路線数 170 本（雪寒指定路線）
延長 390.43 km
- ・除雪車台数 市直営車両 6 台（ドーザー 1 台、ロータリー 5 台）
業者委託車両 131 台（ドーザー 110 台、ロータリー 21 台）
- ・通常の市道除雪に加えて、ダンプトラックによる排雪作業を実施

- 克雪施設整備事業・克雪施設管理事業・・・326,407千円
(一般財源所要額167,916千円)

冬期間の交通を確保するため、克雪施設の整備及び管理を行う。

- ・消雪パイプ 3 件
- ・流雪溝 3 件

※当初予算で計上した除雪費を使い切り、1月10日付で約11億円を増額補正

除雪経費以外の特殊事情に係る経費の内訳

《子ども・子育て支援》

- 統合園舎新設事業・・・・・・・・・・・・・10,439千円
(一般財源所要額10,439千円)

保育園・幼稚園整備構想に基づき、第三保育園、斐太南保育園、矢代保育園の統合園を平成30～令和2年度の3か年で整備する。

- 学校給食運営・食育推進事業・・・・・・・・・・132,001千円
(一般財源所要額126,672千円)

市内全中・特別支援学校において学校給食の主食代(米、パン、麺)を無償とし、子育て世帯の負担軽減を図ります。

安全・安心な学校給食の継続的かつ安定的な提供に向けて、計画的に給食調理業務の民間委託を実施します。また、第3次妙高市食育推進計画に基づき、給食の時間や各教科、総合的な学習の時間など学校教育活動全体を通じた食育指導により、児童生徒の職に対する関心を高め、基本的な生活習慣や望ましい食生活を確立します。

- 英語教育支援事業・・・・・・・・・・・・・31,723千円
(一般財源所要額30,048千円)

中学校において、週1回ALTが授業に参加しティームティーチングを行うことで、生徒の英語による実践的なコミュニケーションへの意欲・関心を高め、英語力の向上及び外国文化理解教育の推進を行う。

令和2年度から小学校における英語教科の時数が増加することに対応するため、ALTを増員し、併せて外国人観光客が増加している妙高高原・妙高地域のこども園、保育園も兼務することで、園～学校での連続性のある指導体制を構築します。

- パソコン等による情報教育推進事業・・・・・・・・374,916千円
(一般財源所要額192,327千円)

グローバル化・ICT化に対応した人材を育成するため、国のGIGAスクール構想による「一人一台端末」の実現に必要な環境整備を行うことで、情報機器を活用した教育体制を構築します。

《移住・定住の促進》

- 住宅取得等支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46,000千円
(一般財源所要額45,700千円)

転入人口の増加と人口流出の抑制のために、市内での住宅取得や増改築等に対し、その費用の一部を補助するとともに、空き家など中古住宅の活用時における家財等の処分やクリーニングなどの費用の一部を新たに支援する。

- 優良宅地造成支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14,865千円
(一般財源所要額14,865千円)

低廉で優良な宅地の提供による定住促進を図るため、宅地造成を行う事業者が築造する道路整備の費用の一部を補助する。

《安心・安全》

- 道路新設改良事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93,854千円
(一般財源所要額14,074千円)

交流と暮らしを支える基盤として、雪や災害への対応、歩行者の通行の安全確保、地域産業の振興や観光交流の促進を考慮した道路整備を行う。

・道路改良：11路線

- 子どもの通学等対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 161,827千円
(一般財源所要額161,827千円)

遠距離通学児童・生徒の通学に係るスクールバスを運行することで、児童生徒の安全の確保と時間的・経済的負担の軽減を図る。

- 生活交通確保対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129,020千円
(一般財源所要額112,758千円)

市民の日常生活に欠かせない、市営バスや路線バス、コミュニティバス、乗り合いタクシー等の運行により、市民が安心して移動できる環境の構築を図る。

《交流人口の拡大》

- 関係人口創出・拡大事業・・・・・・・・・・43,428千円
(一般財源所要額23,772千円)

テレワーク・ICT技術を活用し、関係人口の創出及び拡大を図る。

- 観光誘客推進事業・・・・・・・・・・59,784千円
(一般財源所要額14,508千円)

民間の企業や近隣他市町村と連携し、「アウトドア」をテーマとした観光プロモーションを行うことで、観光誘客の促進を図る。

《その他》

- 地域医療体制確保事業・・・・・・・・・・210,793千円
(一般財源所要額157,823千円)

上越地域における医療体制を充実させるため、新潟県厚生農業協同組合連合会が、けいなん総合病院で行う医療機器等の設備整備に対して、補助する。

- 生活習慣病予防健診・重症化予防事業・・・・66,611千円
(一般財源所要額48,242千円)

市民健診や各種がん検診等の受診率向上に向け、特に国・県よりも死亡率が高い大腸がんや胃がんについては、「大腸がん撲滅キャンペーン」や「ピロリ菌検査」を継続し、がんの早期発見・早期治療につなげる。また、予約健診等の回数を増やすなど受診しやすい環境づくりと受診勧奨を行うとともに、かかりつけ医と連携した保健指導を行うことにより、腎不全、人工透析等への移行を防止し、健康寿命の延伸と医療費の適正化を図る。

- 地域経済活性化支援事業・・・・・・・・・・85,520千円
(一般財源所要額85,520千円)

事業所の事業拡張を支援し、産業の活性化を図るほか、効果的な経済対策により、地域内の消費を喚起することで、地域経済の活性化を図る。

●妙高版DMO地域経営推進事業・・・・・・・・・・137,216千円

(一般財源所要額68,568千円)

一般社団法人「妙高ツーリズムマネジメント」(妙高版DMO)が、多様な関連者と連携して進める観光振興に向けた取り組みを支援することで、妙高山麓の貴重な資源を磨き上げ、地域一体となった魅力的な観光地域づくりを目指す。

●スポーツ施設整備事業・・・・・・・・・・・・・・191,562千円

(一般財源所要額41,049千円)

各スポーツ施設について、必要な改修及び解体等の計画的な整備を行い、快適なスポーツ環境を利用者に対し提供する。

令和2年度 妙高市における豪雪被害状況等

(令和3年1月13日現在)

《被害状況等》

1 積雪・累計降雪状況

指定観測点

- ・新井消防署（旧新井市） … 最高積雪深 260 cm、累計降雪量 516 cm
(災害救助法適用積雪深：235 cm)
- ・頸南消防署（旧妙高高原町） … 最高積雪深 238 cm、累計降雪量 668 cm
(災害救助法適用積雪深：334 cm)
- ・妙高支所（旧妙高村） … 最高積雪深 241 cm、累計降雪量 723 cm
(災害救助法適用積雪深：312 cm)

○市街地（旧新井市）における最高積雪深 260 cm（1月11日）は、
「平成23年豪雪」以来、9年ぶりに災害救助法適用積雪深 253.3 cmを超過。

- ・過去10年平均 114.8 cm（2月11日）の 2.2倍
- ・過去5年平均 75.6 cm（2月9日）の 3.3倍

○市街地（旧新井市）における累積降雪量 516 cm（1月11日現在）は、
年間の累積降雪量の過去10年平均 491.6 cmを既に超過。

【1月11日時点の比較】

- ・過去10年平均 152.1 cmの 3.4倍
- ・過去5年平均 74.4 cmの 6.9倍

○今冬は、年末年始からの2度の強烈な寒波の影響で、例年の降積雪のピーク（2月10日前後）よりも3週間程度早い時期に、かつ、平野部（市街地）に多量の降雪があったことから、以下に記載のとおり市民生活に大きな被害が発生しています。

2 人的被害

死者1人、重傷者5人、軽傷者7人の計13人

○雪に慣れているはずの妙高市民ではありますが、市街地に、短期間に多量の降雪があったこと、また、高齢者世帯や雪処理に不慣れなかたが増えていることなどにより、例年以上に人的な被害が多く、連日、防災行政無線により注意喚起を行っています。

- ・雪下ろし作業中の転落 … 死亡1人、重傷者2人、軽症者5人の計8人
- ・家庭用除雪機による事故 … 重傷者3人
- ・屋根雪の落下による事故 … 軽症者2人

※人的被害12人のうち、4人が高齢者、1人が未就学児

3 建物被害

半壊 2 棟、一部損壊 4 棟の計 6 棟が損傷

○短期間に多量の降雪があったことから、屋根の雪下ろし作業が間に合わず、損壊した住家が 6 棟ありました。うち、4 棟は空き家等の非住家ではありますが、周辺住民に危害を与えるとともに、空き家の増加により適切な維持管理がなされていない非住家がまだ多く存在していることから、今後の本格的な降雪期を控え、被害が拡大する可能性が高まっています。

- ・半壊 … 非住家 2 棟
- ・一部損壊 … 住家 2 棟、非住家 2 棟

4 道路交通の状況

生活道路の通常交通の確保が困難

○生活道路確保のため、24 時間体制で除排雪作業を進めていますが、車道と歩道との間に堆積した雪が 3m を超える雪壁となり、雪壁が崩れて児童生徒の通学に危険が生じていること、また、横断歩道や交差点部の見通しが悪く交通事故の危険性が高まっていることから、ダンプトラックとロータリー除雪車により、雪壁を取り除く排雪作業を実施しています。

○排雪作業は、年末年始の大雪後 1 月 5 日～7 日の 3 日間で、市街地の幹線道路を中心に実施しましたが、1 月 7 日以降の 2 回目の強烈寒波により、1 月 12 日～19 日の間で、幹線道路だけでなく、保育園、小学校周辺の通学路、市営バス、スクールバス等の運行路線も排雪作業を継続して実施しています。

- ・安全な登下校が確保できないことから、市内の小・中学校、特別支援学校を臨時休校（1 月 12 日 全 12 校が休校、13 日 新井・妙高地域の 9 校が休校）

上信越自動車道では「立ち往生」と「長期間の通行止め」が発生

○上信越自動車道（高速道路）の妙高高原 I C～上越 J C T 間では、雪や事故による通行止めが、上下線合わせて○回発生しました。特に、12 月 16 日 22 時 10 分から 17 日午前中にかけて、最大約 300 台が立ち往生となりました。

また、同区間は 1 月 8 日 17 時 45 分から長期間に渡って通行止め（13 日現在も通行止めは継続中）となり、物流や冬季観光にも大きな影響を与えています。

5 えちごトキめき鉄道 はねうまラインの運行状況

冬期間だけで、561 本が運休し、終日運休は 1 週間以上

○今冬の豪雪により、1 月 13 日までに上下線合わせて 560 本の電車が運休し、公共交通として機能が低下しています。特に、1 月 8 日から長期間に渡って全区間が終日運休（13 日現在も終日運休は継続中）となり、市民の通学や通勤、通院などに大きな支障を与えています。

6 要援護世帯への支援

倒壊の危険性の高い、要援護世帯の雪下ろしを支援

- 妙高市では、市独自に高齢者世帯や障がい者世帯などの援護が必要な世帯を対象に、屋根の雪下ろしや玄関までの道踏みなどの除雪支援を行っています。
- 1月10日に災害救助法の適用（以下「法適用」という。）を受けたことから、市独自の補助制度により対象となる67世帯に加え、法適用の支援対象となる旧新井市の1,230世帯の住家が積雪により倒壊する危険がないか確認をし、支援が必要な住家の雪下ろしを支援しています。
- 順次、雪下ろしに取り掛かっていますが、法適用期間は10日間（1月10日から19日まで）と短期間であることから、期間内に全ての要援護世帯の雪下ろし作業を完了させることは困難な状況となっています。

7 停電

約900世帯で雪を原因とした停電が発生

- 倒木や氷雪の影響により、市内各所で停電が発生しています。
 - ・12月19日～20日 約500戸
 - ・12月21日 約290戸
 - ・12月24日 約10戸
 - ・1月2日 約90戸

8 予算の状況

11億円余りを増額補正し、計15億円超の除雪関連予算

- 過去7年間の除雪機械の稼働経費をベースに、約11億6千万円の除雪関連予算を計上していましたが、1月上旬で底をつくことから、1月10日付で今後、必要となる除排雪関連経費など、約11億円を増額補正しました。

9 市対策本部の開設状況

1月10日に妙高市（旧新井市）に災害救助法適用

- ・1月4日 15:30 妙高市大雪警戒本部設置（旧新井市：積雪深182cm）
- ・1月9日 15:00 妙高市豪雪対策本部設置（旧新井市：積雪深210cm）
- ・1月10日 11:00 妙高市豪雪災害対策本部設置（旧新井市：積雪深250cm）
※災害救助法適用（旧新井市）

小此木内閣府特命担当大臣
(防災、海洋政策)

小此木 八郎 先生

令和3年1月の大雪に関する 要 望 書



令和3年1月14日

 富山県

令和3年1月の大雪に関する要望

富山県の積雪は、1月9日時点で120cmを越え、平年の5倍以上、昭和38年の「38豪雪」(186cm)、昭和56年の「56豪雪」(160cm)に次ぐ記録的な積雪となり、甚大な被害が発生しています。県では10日午前4時に雪害対策本部を設置し、全力で災害対応を行うとともに、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市の4市に災害救助法を適用しました。

東海北陸自動車道では一時およそ260台が立ち往生し、自衛隊に災害派遣を要請したほか、北陸自動車道や国道8号などの幹線をはじめ県内各地の多くの道路で車が立ち往生するなど大渋滞が発生し、歩道の積雪により歩行者も危険な状態にあるなど、交通の障害が県民生活に多大な影響を及ぼしています。

さらに、あいの風とやま鉄道、富山地方鉄道、万葉線などの公共交通が終日運休するなど、地域の交通網がことごとく麻痺し、学校の休校や企業の休業のほか、物流の停滞により食料品やガソリンなどの生活物資の不足といった事態も相次いでいます。また、除雪作業中の事故が多発しており、今後も人身被害が懸念されています。

こうした状況を早期に解消するため、除排雪など可能な限りの対応を行っておりますが、今後さらに、道路や鉄道の除雪体制を強化し、円滑な交通を確保する必要があり、多額の財政負担を余儀なくされています。

つきましては、こうした本県及び県内市町村の事情を考慮いただき、これらに係る財政支援等について、格段のご配慮をお願いいたします。

令和3年1月14日

富山県知事 新田 八朗

【県道富山小杉線（富山市古沢地内）の状況（1/10（日）午前6時頃）】



古沢交差点から北陸自動車道富山西IC方面を望む（交差点を除雪）



古沢交差点付近で立ち往生した大型トラック

1 雪に強い道路整備と体制強化

(1) 直轄管理道路の雪対策面での強化

国道8号等の直轄管理道路において、待機所の確保など雪対策面での強化に資する整備を行うとともに、より一層の除雪体制の強化を図ること。

(2) 安定的・継続的な除雪体制の確保・強化

除雪車購入等による除雪体制の強化を進めるため、社会資本整備総合交付金等により、十分な財政支援を行うこと。同様に、消雪設備等の整備についても社会資本整備交付金等による財政支援を充実させること。

また、各道路管理者間及び道路利用者との情報共有のより一層の充実を図ること。

(3) 安全・安心のみちづくりの促進

防災・減災、国土強靱化のための三か年緊急対策につづき、対象事業を拡大した五カ年間の計画の策定及び必要な予算の確保

2 鉄道事業者の除雪体制の強化に対する支援

(1) 地域鉄道事業者が行うラッセル車導入や消雪設備の設置等、雪害対策の強化のための設備導入に対する国庫補助予算の十分な確保と補助率のかさ上げを行うこと。

(2) 地域鉄道事業者の施設整備に対する自治体の財政支援について、その3割が特別交付税で措置されているが、豪雪地帯に指定されている地域においては措置の割合をかさ上げする等さらなる支援の拡充に取り組むこと。

3 代替幹線交通の早期整備

(1) 北陸新幹線の大阪までの早期全線開業

代替幹線交通の早期整備雪害等に対する抜本的対策として災害に強い国土軸を形成する必要があることから、代替幹線交通として、北陸新幹線の大阪までのフル規格による全線開業を早期に実現すること。

(2) 東海北陸自動車道の早期全線四車線化

東海北陸自動車道の暫定二車線供用区間である福光 I C～小矢部砺波 J C T間において、上下線合わせて約 2 6 0 台の車両が立ち往生し通行止めとなり、本県の大動脈が寸断された。今後、このような事態が発生しないよう、早期に全線四車線化すること。

①早期の四車線事業化

- ・ 福光 I C～南砺スマート I C間
- ・ 飛驒清見 I C～白川郷 I C間

②事業中区間の整備促進

- ・ 南砺スマート I C～小矢部砺波 J C T間
- ・ 五箇山 I C～福光 I C間
- ・ 白川郷 I C～五箇山 I C間

4 除排雪に対する財政的支援

- (1) 記録的な大雪により、例年を上回る除排雪等に係る経費が見込まれることから、特別交付税については繰上げ交付するなど、十分な財政支援を行うこと。
- (2) 県管理道路について、所要となる除排雪費の全額に対し、社会資本整備総合交付金等（補助率 2/3）により支援すること。
- (3) 市町村管理道路については、市町村道除雪費補助の臨時特例措置を適用し、財政支援を充実すること。

5 被災した中小企業や農林漁業者等への支援

- (1) 地域経済や住民生活の早期回復のため、信用保証制度におけるセーフティネット保証の弾力的な運用や信用保証料負担の軽減など支援制度の充実を講じ、中小企業者の資金繰りの円滑化を図ること
- (2) 農業用ハウス等の再建や修繕、撤去等に係る経費、農作物被害に対する支援を行うこと。
- (3) 今後の調査結果に応じ、倒木などの森林被害の復旧に支援すること。また、転覆、浸水等した漁船の引揚げ、修繕等や操業再開に向けた支援を行うこと。